


教科	特別活動	単元名	好きなものを伝えよう
----	------	-----	------------

本単元で育む主な情報活用能力

**D-STEP 2, E-STEP 2
F-STEP 2**

該当番号の詳細内容は「大阪府情報活用能力ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつきたい力）

- ・自主的、実践的な集団活動を通して、よりよい人間関係を形成する。
- ・学校生活の向上を図り、取り組みの内容を話し合って決める。

（学校図書館等の活用でつきたい力）

- ・読み聞かせの選書において、相手に応じてどのような本を選んだらよいかを考える。
- ・読み聞かせ用に選んだ本をグループで読み、読み聞かせに適した話し方を考える。
- ・俳句に関する本を探し、俳句づくりの参考にする。

単元における学習の展開（全5時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・思いを言葉にして伝える活動（俳句、読み聞かせなど）の中から、取り組みたいものを決める。 ・グループに分かれ、どのような形式で言葉を伝えるかを話し合う。
第2次 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・本を選ぶ、俳句を作る、発表する練習を行うなど、「言葉のお届け会」の準備を行う。（☆）（本時）
第3次 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・「言葉のお届け会」を開く。 ・振り返りを行い、改善点を考える。

本時のねらい

- ・伝えたい内容や方法に合った本を探し、活用する。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	1. 練習や本番に必要なものを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに必要なものをリストアップする。 ・必要なものをどこで探せばよいか見当をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リストアップされたものを確認し、過不足があればもう一度考えるよう促す。
展開 (30分)	2. 必要なものを学校図書館で探して借りる。 <ul style="list-style-type: none"> ・「大阪弁の本」や「俳句の本」など、めあてに合った本を探して借りる。 ・本をグループで読み、適切かどうかを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特集コーナーがあることや、3年生で学習した「日本十進分類法のおさらい」をする。 ・適切な本の選び方に迷ったら、学校司書にも質問をしてよいことを伝える。
まとめ (10分)	3. 次回にすることや必要なものを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・今回用意したものに加えて、さらに必要なものがあるかどうかを考える。 ・練習をどのように行うかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような会にしたいのかという視点をもたせる。 ・本番を想定して、見通しをもって練習の計画を立てるよう伝える。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

3年生が4年生におすすめの本の読み聞かせをしたことをきっかけに、「自分たちもやりたい！」という声のもと、「言葉のお届け会」が企画された。感謝の気持ちを言葉で伝える方法として、絵本の読み聞かせと、国語科「短歌・俳句に親しもう」で学んだ俳句も作りたいと、2種類の内容で行うこととなった。そうした自主性を実践に移す過程で集団での話し合いを重ね、よりよい人間関係を形成し、話し合う経験をたくさん積むことができた。

自分たちで企画をすることは、絵本を声に出して読みたくさんの本にふれながら、意欲的に活動していた。登場人物ごとに読む担当を決める、ページごとに担当を決めるなど、絵本ごとにどう読めばよいかを考えていた。俳句は条幅紙に毛筆で書いて発表するというアイデアを出して工夫していた。どのような形式で伝えればよいかを、今まで学習したことを生かして考え、自分たちで作上げる達成感を得ていた様子であった。

このように、内容や指導を工夫し、自分たちで作っているという実感をもてることを大切にしたい。



紹介する絵本を声に出して読んでいる様子